

恋ぼとりん BRAND BOOK 2026

安さではなく、価値を。

量ではなく、記憶を。

ヒトとシマをトリコに。

私たちTORIKOFARMは、
マンゴーを作るためだけに農業をしているわけではありません。

宮古島という島が持つ価値。

農業という仕事を持つ可能性。

そして、この土地で挑戦する人たちの想い。

それらを一つの果実に込め、全国へ届けたいと考えています。

私たちのミッションは、「ヒトとシマをトリコに。」

農産物を通して、人と地域をつなぐことです。

恋ぼとりんとは

恋ぼとりんは、
TORIKO FARMが手掛けるブランドマンゴーです。

名前には、

「ひと口食べた瞬間、恋に落ちるような感動を届けたい」

という想いを込めています。

甘さだけではなく、

香り、余韻、記憶に残る体験。

恋ぼとりんは、宮古島の夏を象徴する特別な果実です。

30年の技術と、自然への敬意

宮古島の強い日差し。

潮風。

土壌。

気候。

マンゴーは、自然の条件によって味が大きく変わります。

私たちは自然に逆らうのではなく、自然と向き合うことを選びました。

長年積み重ねてきた栽培技術と、自然への敬意。

その両方がある初めて、恋ぼとりんは生まれます。

気候変動という現実

2025年。

私たちは30年以上続く栽培の中で、初めて販売を断念しました。

気候変動による異常気象。

受粉時期の寒暖差。

例年の約3割まで落ち込んだ収穫量。

自然と共に生きる農業だからこそ、避けられない現実があります。

それでも私たちは、諦めませんでした。

農業の価値を再編集する

私たちが目指しているのは、高級マンゴーを作ることではありません。

農業の価値を再編集することです。

安く大量に作る時代から、

価値で選ばれる時代へ。

価格ではなく、背景や想いで選ばれる農業へ。

恋ぼとりんは、その挑戦の証です。

宮古島のマンゴーを世界へ

私たちは、宮古島のマンゴーは世界一だと思っています。

だからこそ、地域ブランドとしての価値を高めたい。

農業を、憧れられる仕事にしたい。

そして、宮古島から世界へ誇れるブランドを生み出したい。

恋ぼとりんは、その第一歩です。

Message

マンゴーを売りたいわけじゃない。

届けたいのは、
宮古島の価値。

農業の価値。

そして、
未来への挑戦。

恋ぼとりん。

それは、
私たちの挑戦の証です。

株式会社TORIKO FARM MIYAKOJIMA
代表取締役 国吉翔平